



2年海洋科学科11月期キャリアトライアル 「ことばの力」トライアル

＜塚原帆乃茄＞

今回の集中実習の内容が発表されたとき、今までの集中実習とは違うと思った。これまでの集中実習は「どれだけ自分で考え行動できるか」という内容で、積極性を身に付けることがテーマだったが、今回は3年生が取り組んでいる研究活動の内容を聞いたり、京都大学で講義を聞くことにより、「視野を広げる」という内容だった。できるだけ知識を広げたいと思い、「その場で疑問に思ったことは質問しよう。」と決めていた。



3年生の研究活動の内容を聞いているときは各班10分程度と短い時間だったが、どの班も自分たちの研究している内容を詳しく教えてくれたり、今現在での研究結果を教えてくれた。だから、海洋とトリッピーの有効性やイワガキの天然採苗について理解することができた。なぜこの内容を研究しようと思ったのか、もし結果が出なかったらどうするのか、ということなどを質問することができた。

一方、京都大学では、講義を聞いて疑問に思ったことはいくつかあり、質問したいなと思ったが、聞きたいことがなかなか文章にできなくて、結局質問できないまま終わってしまった。京都大学に行く前に松下副校長先生からも「たくさん質問して自分のものにしてきなさい」とアドバイスをしていただいたのに、何回も質問している人もいたのに、自分は何もできなくて悔しかった。

＜古市 知＞

今回の実習は、今後の自分について考えさせられるものだった。

1日目の実習で聞いた先輩方の研究活動は、どの班の実験も面白そうで、来年自分もやると思うと楽しかった。自分でテーマを決め、実験方法を考え、試行錯誤を繰り返して結果につなげるのは難しいことだと思うが、先輩方がいろんなことに挑戦する姿は高校生とは思えないくらいしっかりしていて、先輩方の研究を無駄にしまわぬように頑張ろうと思った。

また、進路先でやりたいことや、今から取り組めることも教えてくださった。特に、長崎大学に合格した2人の先輩方のメッセージが心に残っている。中原先輩に「その大学に入りたい、その学問を学びたいという気持ち」は受験者みんな同じだから、面接や志望理由書で、『自分はこんな体験をしてこう思った、だからこの学校に入りたい』ということをはっきり主張することが大切だ。」と教えてもらい、普段の実習や授業から、自分のやりたいことに照らし合わせて考えることが必要なのだとわかった。さらに、足立先輩からは「2年生の成績は進路を決める上で本当に重要。その頃は部活が終わって帰宅して、夜の9時から勉強を初めて朝の3時頃に寝ていた。平日は6時間、休日は10時間近く勉強していた。熱があっても、疲れていても、言い訳や弱音を吐いている場合ではなかった。」と聞いて驚いた。そうやって努力した人が希望進路を勝ち取るのだと痛感したし、今の自分と比べてみると、恥ずかしくなるくらい努力が足りないと感じた。



2日目に京都大学舞鶴水産実験所で受けた講義は、私が将来取り組みたいと思っている学問に近く、とても興味深いものだった。人の手が加わることによって、生物が絶滅に追い込まれたり、生態系が崩れたりするのを防ぐためにも、種の多様性について正しく理解し、放流や開発などは慎重に行う必要があるのだと学んだ。魚の飼育施設では、最先端の研究のための実験内容を知ることができた。魚貝類でも経験や習慣によって個性が表れたり、知能が確認できたりするのかという実験はとても気になった。今まで魚は感情が表れにくく、犬や猫ほど身近に感じることはなかった。しかし、実験の説明を聞いて、魚やナマコにまで個性や知能があるかもしれないと聞き、見方も変わったし、放流の生残率の向上に役立つ画期的な研究だと思った。また、人間の手で育てられた動物は、自然では生きていけないという話をテレビ番組などで耳にするが、他の動物に対しても同じように厳しい環境で育てていけば、資源の回復や絶滅危惧種の保護にも役立つのではないかと考えた。

来年の課題研究に向けて、自主性や積極性を身に付けていきたい。また、希望進路を実現させるためにももっと努力を重ねて、視野を広げたいと思える充実した集中実習だった。



＜狩野 拓海＞

「集中実習は今まで自分がやってきたことの集大成を見せる場であり、そこから更にどれだけ前に進むことができるのか試される場だ。」と、3回目の集中実習でやっと気付いた。

2年生になったばかりの5月の集中実習のときの私は、少し考えたらできるようなことでも躊躇してしまったり、分からないことをそのままにして聞けなかったり、という状態だった。一歩前に出ればできたことをしてこなかったせいで、周りよりも出遅れてしまっていた。しかし、今の私は以前より確実に一歩前に出ることができるようになっていると思う。

次の私の課題は、コミュニケーション力である。今回の集中実習では、先輩や研究者の話聞くという場面が多かったが、「質問はありませんか？」と促されているのに質問することができなかった。これができるようになるには訓練しかないのだから、人の話を聞いて、まとめて、会話につなげられるようにになりたいと思う。

それ以外にもまだまだ磨いていかなければならない部分がある。普段の実習で、更に内面的に成長していくようにこれからも取り組